

次回の展覧会 Nature Photograph by Iwate Nature Photo Club

ネイチャーフォト展

自然をみつめて
特別展示/石神の丘美術館の四季

2007. 4/28(土)ー6/17(日)

この展覧会では、自然を被写体にしたネイチャーフォト(自然写真)おおよそ100点を紹介します。作品を撮影したのは、岩手県内在住の写真愛好家サークル「いわてネイチャーフォトクラブ」会員のみなさんです。作品を通じて、普段見過ごしがちな風景や季節の移ろい、自然の造形美や驚異に触れてみませんか。今回は「石神の丘美術館の四季」と題した特別コーナーを設け、およそ一年にわたり同会会員のみなさんに撮影いただいた屋外展示場の表情をあわせて紹介します。本展をご覧になった後は、屋外を散策し、実際に自然とのふれあいもお楽しみください。



開館時間: 9:00~17:00(入場は16:30まで) ※会期中無休
観覧料金: 一般300円/大・高生200円/中学生以下無料

○上記料金には屋外観覧料が含まれます○20名様以上の団体は2割引、75歳以上の方、障害者手帳、療育手帳、精神障害者手帳の交付を受けている方は5割引になります

主催=石神の丘美術館/岩手町/岩手町教育委員会/(株)岩手町ふるさと振興公社 共催=いわてネイチャーフォトクラブ 後援=岩手日報社/朝日新聞盛岡総局/毎日新聞盛岡支局/読売新聞盛岡支局/河北新報社盛岡総局/産経新聞盛岡支局/日本経済新聞社盛岡支局/盛岡タイムス社/IBC岩手放送/テレビ岩手/岩手朝日テレビ/めんこいテレビ/NHK盛岡放送局/エフエム岩手/ラヂオもりおか/岩手町芸術文化協会

今月の「アートサイト」は、休載します

平成19年4月1日発行(毎月1日発行) 発行・岩手町立 石神の丘美術館
〒028-4307 岩手県岩手郡岩手町大字五日市10-121-21
TEL 0195-62-1453 FAX 0195-62-1477
HPもご覧ください! <http://museum.ishigami-iwate.jp>

石神の丘美術館通信《いしび》

ishibi

2007.4.1 Vol.54

石神の丘美術館屋外展示場では、春の訪れを告げる福寿草が咲き始めました。輝くような黄色の姿は愛らしく、幸せな気分にしてくれます。

写真をよ〜く
見てください。

右の花の中に
虫がいますね。



熱を感知して開くといわれる福寿草の花は、太陽を追いかけるように咲き、花びらが光を集めるため、外気よりだいぶ暖かくなります。この暖かさにつられて虫たちが寄ってきます。虫が寄ってくることで、受粉がうながされるのですから、蜜をもたない福寿草にとって、これは子孫を残すための作戦でもあるのです。自然の仕組みとはよくできているものですね。

これから初夏にかけては、山野草のシーズン。シロバナエンレイソウ、シラネアオイ、イカリソウ、シュンランなどがつぎつぎに咲き始めます。春を感じながら、屋外展示場を散策してみませんか。決して派手ではないけれど、自然に調和し、風情ある姿の山野草が、散策に彩りを添えます。また、春は鳥たちにとって子育てのシーズン。若々しい緑の中、鳥のさえずりも響きわたります。

企画展示室では、開催中の「石神の丘美術館コレクション展」が4/22(日)で幕を閉じ、4/28(土)から「ネイチャーフォト展」が始まります。県内在住のアマチュアカメラマン22名で活動するサークル「いわてネイチャーフォトクラブ」のみなさんが独自の視点で切り取った風景、動物、植物写真をお楽しみください。このサークルには、岩手町の中島一志さん(沼宮内)も参加しています。



石神の丘美術館 コレクション展

一県人作家を中心に

4/22(日)まで

開館時間: 午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)
観覧料: 一般200円/大・高生100円/中学生以下無料
←郷土の画家・齋藤忠誠(1926-1985)の作品《綾襷》



石神の丘美術館コレクション展 県人作家を中心に

～版画技法のいろいろ～

さまざまな技法が存在し、表現効果も多岐にわたるのが版画の特徴。ここでは、今展で展示している版画作品の技法を簡単にご紹介します。

木版：凸版の一種で、木の板に文字や絵を彫り込んで写し取る技法。縦に切った木材を使う板目木版と、横に輪切りにした木材を使う木口木版があります。前者は日本で伝統的に用いられ、後者は西欧で主流となっています。

エッチング：銅板などの版面を膜で覆い、その上を針などで引っ掻いて金属面が露出した線の部分を作り、酸に浸して腐蝕させ、インクを乗せて写し取る技法。腐蝕により、絵柄の線を強調させることができます。



<作例>

↑ 右側のしみが広がったような箇所がドライポイント。その他の線はエッチングによる

ドライポイント：銅板などの版面に直接針で描画し、インクを乗せて写し取る技法。腐蝕は施しません。印刷時、針で描画した時に出来る版のささくれにインクが引っ掛かり、柔らかいしみのような表現効果が出ます。エッチングとともに凹版の一種です。(※作例は展示品ではありません)

リトグラフ：水と油が反発する性質を利用した技法。石、アルミなどの版面に親油性の部分と親水性の部分を作り出し、親油性の部分にだけ油性インクが乗るように薬品処理して印刷。版を彫ったり削ったりしない平版の一種で、手で自由に描いた線をそのまま生かすことができます。

リトクレヨン、リトペンシルなど油脂分の多いもので絵を描きます



シルクスクリーン：金属や木の枠にシルク(絹)などの幕(スクリーン)を張り、スクリーンの目を通してインクを写す技法。版の「孔」の部分を通してインクが図柄となるので、孔版(ステンシルや型絵染めもこの仲間)に分類されます。

美術館ホールにも春がきた!

【参加型】ホールの小さな展覧会

みんなでつくる 春の風景

「おりがみ」や「きりがみ」、1枚の紙は、いろいろな姿に形をかえます。さあ、紙をつかって、みんなで春の風景をつくりましょう。梅や桜をはじめたくさんの花が咲き、鳥や虫たちも活動をはじめ春。あなたのアイデアしだいで春の景色はいっそうにぎやかになるはず! この展覧会は来館したみなさんの参加によってできあがる展覧会です。



ミュージアムショップ

美術館の入口近くにある、ショップコーナーをのぞいたことがありますか? 美術館オリジナルグッズをはじめ、ちょっと面白い商品がありますよ。例えば、「石神の丘美術館コレクション展」でも紹介している、岩手町出身の画家・齋藤忠誠さんの作品をモチーフにしたボールペンや絵のはがきは、ここでしか買うことのできないものです。他に、三河渉さん(美術家・盛岡市在住)が制作した「プリンバッジ」もあります。お土産や贈り物にもオススメです。



美術館隣接 道の駅・レストラン「石神の丘」情報

このコーナーのお問合せ・ご予約は 道の駅「石神の丘」 TEL0195-61-1600 まで



こいのぼり

毎年ご好評いただいている「こいのぼり」。今年も、岩手町・川口「山道シルバーボランティアクラブ」の皆さんにご協力いただき、4月中旬から5月中旬までイベント広場と南の広場に設置する予定です。たくさんのこいのぼりを泳がせようと、今年もご家庭で不要となったこいのぼりのご寄付をお願いしております。ご協力よろしくお願ひいたします。(詳しくは上記番号へお問い合わせください)

春のコース料理



¥3,150

◇オードブル/マグロのカルパッチョ 春野菜添え〜パルサミソース〜 ◇スープ/冷製ロワイヤル 菜の花マスタードソース添え ◇魚料理/舌平目のムース包み フィレンツェ風〜フレッシュトマトソース〜 ◇肉料理/奥羽牛のランブステーキ ◇サラダ ◇パン or ライス ◇デザート/レストラン石神の丘オリジナル 桜のアイスクリームと紅茶のケーキ

コース料理はご予約制となっております
上記までお申し込みください